

(様式 2)

(記載例) 公益財団法人札幌国際プラザ「多文化共生事業助成金」交付申請書

令和 年 月 日

公益財団法人 札幌国際プラザ

理事長 町田 隆敏

(団体名)

〇〇協会

(代表者の役職・氏名)

代表 多文化 太郎

下記のとおり事業を開催しますので申請します。

事業名	多文化共生トーク
総事業費	90,000 円 (うち、助成対象経費 60,000 円)
助成金申請額	50,000 円
主催	〇〇協会
共催、後援、 協賛団体	共催：〇〇センター 後援：札幌市
	※当てはまる方に○をつけてください。 (公財) 札幌国際プラザの名義後援を希望 する (しない) 名義後援を希望する団体は、札幌国際プラザウェブサイトの「イベントカレンダー」に開催予定を掲載することが可能です。
開催時期	2026年10月17日(土)
開催場所	〇〇センター 大会議室
参加者数(予定)	5カ国(日本含む) 30名(うち外国人 15名)
事業目的	※地域の課題やニーズなど、なぜこの事業が多文化共生の推進に必要なのかを含めて、具体的に目的を記入してください。 子どもたちが在住外国人との対話や体験を通じて多様性の重要性を学び、異なる背景を持つ人々と共に生きる方法を考え、グローバルな視点と地域での実践力を身につける。また、誰もが安心して暮らせるまちづくりについて考え、自分たちにできることを見つけ出す。 在住外国人は、自身の文化や経験を子どもたちに伝え、地域社会に積極的に関わる機会を得る。
事業内容・ 事業計画	※事業内容には、事業の対象者や実施方法、工夫したポイント(先進性や独自性等)を含めてわかりやすく記入し、計画はできるだけ具体的なスケジュールを記入してください。既存事業のレベルアップで申請する場合は、レベルアップの内容も具体的に記入してください。 市内の小学6年生を対象に3日間にわたり実施し、在住外国人との対話を通して多文化共生への理解を深め、地域での役割について主体的に考える機会を提供する。参加予定者は、小学生〇名、外国人協力者〇名程度を見込んでいる。

	<p>初日は多文化共生の基礎について学び、関連施設を訪問する。2日目は在住外国人から話を聞き、子どもたちが質問を通して理解を深める。最終日はグループで多文化共生のまちづくりについて話し合い、その成果を全体で共有する。</p> <p>本事業は一昨年度から継続して実施しているが、今年度は最終日の発表を保護者だけでなく、YouTube 配信によって広く市民にも公開し、多文化共生に対する子どもたちの視点を発信する点が新たな取り組みである。</p>		
<p>期待する 事業成果</p>	<p>※申請事業の実施により、多文化共生の推進にどのような効果をもたらすか、地域の課題やニーズがどのように解決・改善されるか、継続的な波及効果をどのように考えているか、具体的に記入してください。</p> <p>市内の小学 6 年生は、在住外国人との対話や体験を通じて多様性の重要性を学び、共生への理解を深める。これにより、異文化理解とともに地域への関心や実践力が育まれ、将来的には多文化共生の担い手としての成長が期待される。</p> <p>在住外国人にとっては、地域社会とのつながりを深める機会となり、社会参加への契機となる。また、子どもたちとの交流を通じて、地域での相互理解と支え合いが進むことも期待される。</p>		
<p>担当者名</p>	<p>国際 花子</p>	<p>電 話</p>	<p>〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇</p>
<p>E-mail</p>	<p>〇〇〇〇@〇〇〇. co. jp</p>	<p>FAX</p>	<p>〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇</p>
<p>住 所</p>	<p>〒〇〇〇-〇〇〇〇 札幌市〇〇区〇条〇丁目〇〇-〇〇</p>		